

| | |
|------|--|
| 講演日 | 11月2日(水) |
| 講演時間 | 13:30～14:30 |
| タイトル | 熊本城～復興に向けて |
| 講演概要 | 国指定の特別史跡であり、都市公園であり、重要な観光資源でもある熊本城は、文化財的価値の保全を基本としながら、効率的・計画的な復旧と戦略的な公開・活用の両立に向けて取り組んでいる。熊本地震から6年を経て、地震前よりも安全で安心な場所としての再生を目指す熊本城の今をお伝えする。 |
| 氏名 | イワサ ヤスヒロ |
| | 岩佐 康弘 |
| 肩書 | 熊本市 文化市民局 熊本城総合事務所 副所長 |
| 略歴等 | <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県児湯郡高鍋町生まれ ・熊本大学工学部環境建設工学科を卒業後、衛生工学助手を経て、平成2(1990)年に熊本市役所に入庁 ・土木建設課、水保全課、水道局経営企画課などを経て、平成28(2016)年の熊本地震発生時には、「土木管理課」の技術主幹 ・令和4(2022)年から現職 <p>熊本地震発生時には、道路の土地や道路施設など道路財産を管理部署の技術主幹を務めていた。熊本地震により熊本地域の地盤は大きなゆがみが生じ、道路と民有地の境界線が不明瞭となる箇所も生じた。早期の復旧が求められる中、「土地」という財産の境界をどのように扱うか早急に方針決定する必要があり、地震発生後の数か月はこのことに奔走した。</p> <p>地震から丸6年が経過し、天守閣の修復が完了し昨年オープン。「熊本城は復旧した」と思われている方々も多いと思うが、実際はまだまだ復旧途上。今年4月に現部署に異動になってそのことを痛感。</p> <p>熊本地震の記憶を風化させないためにも熊本城の「今」をしっかりと伝えていきたい。</p> |